

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	若 林 志津子 議員	1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1		高すぎる国民健康保険税を協会けんぽの保険料並みに引き下げる取り組みを要望	<p>(1) 高すぎる国民健康保険税が市民の生活を圧迫している問題について。</p> <p>① 県単位化となっても加入者の構造的な問題は解決されていないと思うが、見解を伺う。</p> <p>② 国保制度は他の保険制度と比べ「所得は低いのに保険料が一番高い。」との不公平がある。平成29年度の滞納繰越分の状況は支払うのに大変という表われではないか。見解を伺う。</p> <p>③ これ以上の保険税値上げは市民にとっては大変なこと。保険税値上げを回避するために従来行ってきた一般会計からの繰り入れについて、厚生労働省の見解はどのようなか。</p> <p>④ 国民健康保険制度にしかない均等割と平等割の問題について。 均等割は昔の人頭税のようで、ゼロ歳児にもかかり、子どもが多いほど負担が増え、子育て支援に逆行していると言える。全国で均等割の軽減、平等割の廃止または軽減をしている自治体があるが、子育て支援と不公平をなくすために均等割、平等割の見直し及び廃止の検討を要望する。</p> <p>(2) 全国知事会、全国都道府県議長会、全国市長会、全国市議会議長会、国民健康保険中央会などが2012年に、全国知事会は2013年、2014年、2017年、2018年と国民健康保険制度に対し、「協会けんぽ並み負担率を求める」、「財政基盤強化」、「国定率負担の引き上げ」、「国庫負担割合の引き上げ」などを提言・要望している。国保制度は国が責任を持ち協会けんぽ並みとするよう1兆円の公費負担が求められるが、見解を伺う。</p>	市長 関係部長
2		小・中学生のランドセル及びかばんの重さ軽減について対策がなされたのか	<p>(1) 昨年6月定例会の一般質問で取り上げた後、文部科学省より平成30年9月6日付事務連絡で「児童生徒の携行品に係る配慮について」が出された。それ以降どのような対策をしたのか伺う。</p> <p>① 小学校で対策を行った学校数と具体的な対策について。</p> <p>② 中学校で対策を行った学校数と具体的な対策について。</p> <p>③ 対策がされなかった学校はどんな問題で対策できなかったのか。その問題の改善はどのように行うのか。</p>	市長 教育長 関係部長
3		中学生の制服に女子用のスラックスを加えることについて	<p>(1) 東京都中野区と世田谷区では小学6年生の女子児童が「ズボンをはきたい。」との声が多いというアンケート結果から制服にスラックスを付け加えている。当市でも寒さ対策と多様性を認めることから取り組んではいかがか。またそれについてアンケートを行うよう要望する。</p>	市長 教育長 関係部長
4		安定ヨウ素剤備蓄に当たり、事前の準備として学校医を通じ児童生徒のアレルギーについて事前に問診することを要望	<p>(1) 安定ヨウ素剤を配布する事態のときは、大きな混乱状態が予測される。今できることとして、児童生徒にいち早く渡せる体制づくりとして、以下要望する。</p> <p>① 備蓄場所を学校、幼稚園、保育所、認定こども園などに増やすことはできないか。</p> <p>② 児童生徒に対して、事前に学校の身体検査時に学校医によるアレルギーの問診の項目を増やし、確認をしておけば、安定ヨウ素剤を服用する事態が発生した時は、迅速な対応ができる。そのことを要望する。</p>	市長 教育長 関係部長